

英語の国民・民族名の形態的・音韻的研究

須 永 紫乃生

A Morphological and Phonological Study on "National Names" in English

Shinobu SUNAGA

This paper is a research into the patterns in English of naming the inhabitants of countries, territories or islands. I plan to investigate: What kinds of suffixes or other elements could be affixed to names given to countries or native names. The formation patterns or some rules of national naming will be examined and discussed from the morphological and phonological points of view.

One of the findings is the *Bosnians* living in Bosnia-Herzegovina comprise the *Croats* from Croatia, the *Serbs* from Serbia and the Muslims. Country names ending with *-ia*, and national or native names with *-an* or *-ian* are most common that I expected.

I have found quite a number of English names of Asian countries end with the suffix "*-ese*" while some of those in Middle East and Africa have the ending "*-i*". Their causes will be clarified.

The Corpus includes the list of "nations and regions" from *U.S. News & World Report Stylebook* (1993), and the additional examples of national names collected from the leading newspapers and newsmagazines published in English language, and Radio and TV news programs.

I. はじめに

報道記事に出てくる固有名詞のなかで、特に見出しの多くに登場するものに、国名、国民・民族名がある。

長引き激化する世界の紛争地域で、苦しむ国民や民族を救う努力の一部として、本年50周年を迎えた国際連合が、国連待機軍、地域別の監視軍、選挙監視団などの平和維持活動を行っている。その関連の報道が多いことも一因であろう。

ソ連邦の崩壊にともなって、東欧の国々のひとつ Yugoslavia は、民族の対立抗争から4か国に分離独立した。そのひとつ、Bosnia-Herzegovina には、隣国 Serbia の同胞セルビア人 Serb とやはり隣国 Croatia の同胞 Croat、そしてイスラム教徒 Muslim とが住む。3民族ともボスニアの国民 Bosnian である。民族名 Serb, Croat に接尾辞 *-ia* をつけて国名の Serbia, Croatia をつくり、国名 Bosnia に *-an* (*-ia* の語尾を持つものは *-n* のみ) をつけて国民名 Bosnian とする法則性が見られる。

中東や西アジアの国々の国民名には、Israeli, Pakistani のように *-i* の接尾辞を持つ例がよく見られる。イスラム世界に特有なのであろうか。

また、東アジアには、Japanese, Chinese, Vietnamese など *-ese* の語尾を持つ国民名が目立つが、ほかの大陸ではあまり見られないのであろうか。

I-1. 目標：本論では、“person words”⁽¹⁾（人を表わす語）の研究の一環として、国民・民族名の語形成を研究する。

英語の nation の意味は「民族」、「国民」、「国家」を含む。

An extensive aggregate of persons, so closely associated with each other by common descent, language, or history, as to form a distinct race or people, usually organized as a separate political state and occupying a definite territory.” (OED s.v. **Nation**)

通例、国家は「民族国家」として形成され、固有の民族、国語、領土、社会制度などを持つ。しかし、国家内の民族対立があって、一民族一国家だけではない現実もある。近年は「国民国家」と称される。⁽²⁾そこで、日本語の論題には「国民・民族名」を用いた。

I-2. 研究対象：データは *U.S. News & World Report Stylebook*, 6th Edition (1993) の項目 “nations and regions.” の ‘resident’ のコラムのリストをベースに、最近の英字紙、英文雑誌、テレビ・ニュースからの発見を追加し、マスメディアによく登場する独立国と自治領の国民および民族の英語名（借用語を含む）を調査する。

I-3. 調査方法：国家の名、国民・民族名に史的、地域的、言語的特色があることを考慮に入れつつ、それら英語名（借用語も含む）の造語法を、特に接尾辞に焦点を当てて、形態および音韻の法則性を研究する。

II. 国民・民族名の接尾辞の分布

「ヨーロッパ諸国の国名は、その土地に初めて居住したかそこを征服した部族の名から来ている」(Berlitz, 1982)⁽³⁾。ローマ人 Roman が住んでいた土地は Romania、ローマ時代にかんりの数の奴隷 slave が集められたのがロシア南部で、Slav が住んでいる。ロシア語のロシア Rossiya はヴァイキング語の rothsmen から来た Rus (漕ぎ手) という名で知られていた創始者の名に因むという。民族の移動、大国の征服の歴史が反映されている。

原語の接辞は措いて、英語の国民、民族、住民を指す接尾辞には *-an[-n]*, *-ian*, *-er*, *-ese*, *-i*, *-ite* がある (Marchand, 1969)。⁽⁴⁾

そこで、地域別に、Africa, Mideast, Asia, Oceania, Americas, Europe の 6 地域に分け、接尾辞別に分類した国民・民族名の表 (Table 1) と接尾辞別の統計 (Table 2) を作成する。

II-1. 接尾辞の生産性

Table 1, Table 2 を検討すると、地域により接尾辞の分布に次の特色がみられる。

- (1) 中東 (Mideast) を除く地域では、*-an[-n]* の接尾辞がつく国民・民族名が一番多い。
- (2) 中東では、*-i* がつく名が一番多い。
- (3) *-i* がつく語は、中東に次いでアフリカに多い。
- (4) *-ese* がつく語は、アジアとアフリカで各々 2 番目に多い。
- (5) ヨーロッパに origin. (original or local) が多いのは、民族名がすでに国名の一部に含まれていること、経由各言語の接尾辞を持つ借用語に基づくことが多いためと推測される。

II-2. *-i* のつく語の分布

上記、II-1. (2), (3) により、世界地図上に *-i* がつく語 (以下 *-i* 語とする) を載せてみたのが、Chart 1 である。

明らかに、イスラム教世界あるいはアラビア語圏と、ユダヤ教国セム語圏に、すなわち西アジアと北アフ

Table 1. National Names Classified by Regions.

regions	suffixes	national names
I-A Africa	-an/-n	Algerian, Angolan, Burundian, Central African, Ciskeian, Djiboutian, Equatorial Guinean, Ethiopian, Gambian, Guinean, Guinean (<Guinea Bissau), Ivorian (<Ivory Coast), Kenyan, Liberian, Libyan, Malawian, Malian, Mauritanian, Moroccan, Mozambican, Namibian, Nigerian, Rwandan, Sierra Leonean, South African, Tanzanian, Transkeian, Tunisian, Ugandan, Western Saharan, Zairean*, Zambian, Zimbabwean
	-ian	Cameroonian, Cape Verdian, Chadian, Egyptian, Ghanaian, Maldivian (<Maldives), Mauritian, Zairian*
	-ese	Beninese, Congolese, Gabonese, Reunionese, Senegalese, Sudanese, Togolese
	-i	Somali, Swazi
	Origin.	Botswana (pl. <i>Batswana</i>), Burkinabe (<Burkina Faso), Comoro (<Comoros), Malagasy (<Madagascar), Mosotho (<Lesotho, pl. <i>Basotho</i>), Nigerois (<Niger), Tswana (<Bophuthatswana)
I-B Mideast	-an/-n	Gazan, Syrian
	-ian	Iranian, Jordanian, Palestinian
	-ese	Lebanese (<Lebanon)
	-i	Bahraini, Iraqi, Israeli*, Kuwaiti, Omani, Qatari, Saudi (<Saudi Arabia), Yemeni
	-ite	Israelite *
	of~	Resident of United Arab Emirates [Abu Dhabi/ Ajman/ Dubai/ Fujairah/ Ras al-Khaimah/ Sharjah/ Umm al-Qaiwain
Origin.	Turk	
I-C Asia	-an/-n	Bruneian, Cambodian, Indian, Indonesian, Malaysian, Mongolian, North Korean, Singaporean, South Korean, Sri Lankan
	-ian	Laotian*, Hong Kongian
	-ese	Bhutanese, Burmese, Chinese, Hong Kongese, Indochinese, Japanese, Myanmarese, Nepalese, Taiwanese, Vietnamese
	-i	Afghani**, Bangladeshi, Bengali (<Bangladesh), Kashmiri, Pakistani
Origin.	Afghan**, Lao*, Filipino, Thai	
I-D Oceania	-an/-n	American Samoan, Australian, Fijian, Kiribatian, Nauruan, Palauan, Papua New Guinean, Tongan, Tuvaluan, Vanuatuan, Western Samoan
	-er	New Zealander, Solomon Islander

I-E Americas	-an/-n	Anguillan, Antiguan & Barbudan, Aruban, Belizean, Bermudan, Bolivian, Chilean, Colombian, Costa Rican, Cuban, Dominican, Equadoran, Salvadoran, Guatemalan, Haitian, Honduran, Jamaican, Mexican, Nicaraguan, Paraguayan, Puerto Rican, St. Lucian, Sao Tomean (<Sao Tome and Principe), Tobagan (<Trinidad and Tobago), Uruguayan, Venezuelan
	-ian	Bahamian, Barbadian, Brazilian, Canadian, Grenadian, Panamanian, Peruvian, St. Kittitian (<St. Kitts-Nevis), Nevisian (do), Trinidadian (<Trinidad and Tobago)
	-er	Falkland Islander
	-ese	Guyanese, Surinamese
	of~	Resident of Virgin Islands
	Origin.	Argentine (<Argentina)
I-F Europe	-an/-n	Albanian, Andorran, Armenian, Austrian, Bosnian, Bulgarian, Byelorussian, Estonian, Georgian, Hungarian, Italian, Latvian, Lithuanian, Moldavian, Romanian, Russian
	-ian	Belgian, Norwegian, Ukrainian
	-er	Icelander, Liechtensteiner, Luxembourger, Netherlander, Hollander
	-ese	Maltese, Portuguese
	-i	Azerbaijani
	-ish	British, English, French, Irish, Scots, Scottish, Welsh
	-man	Englishman, Irishman, Scotsman, Manxman
	Origin.	Briton, Chechen, Croat, Czechoslovak, Dane, Dutch, Finn, German, Greek, Kazakh, Kirghiz, Muslim, Pole, Serb, Spaniard, Swede, Swiss, Tadzhik, Triestino, Turkmen, Uzbek, Yugoslav

Notes : "Origin." signifies the original or local (or official) language and its derivative.

Words with an asterisk * and two asterisks ** are respectively coexistent.

Israelite は古代イスラエル王国の国民を示す。現在は Israeli.

Table 2. Productivity of Suffixes

suffixes	Africa	Mideast	Asia	Oceania	Americas	Europe	TOTAL
-an, -n	3 3	2	1 0	1 1	2 6	1 6	9 8
-ian	8	3	2	0	1 0	3	2 6
-er	0	0	0	2	1	5	8
-ese	7	1	1 0	0	2	2	2 2
-i	2	8	5	0	0	1	1 6
-ite	0	1	0	0	0	0	1
-ish	0	0	0	0	0	7	7
-man	0	0	0	0	0	4	4
of~	0	8	0	0	1	0	9
Origin.	7	1	4	0	1	2 2	3 5
TOTAL	5 7	2 4	3 1	1 3	4 1	6 0	2 2 6

Chart 1. Distribution of national names ending with -i

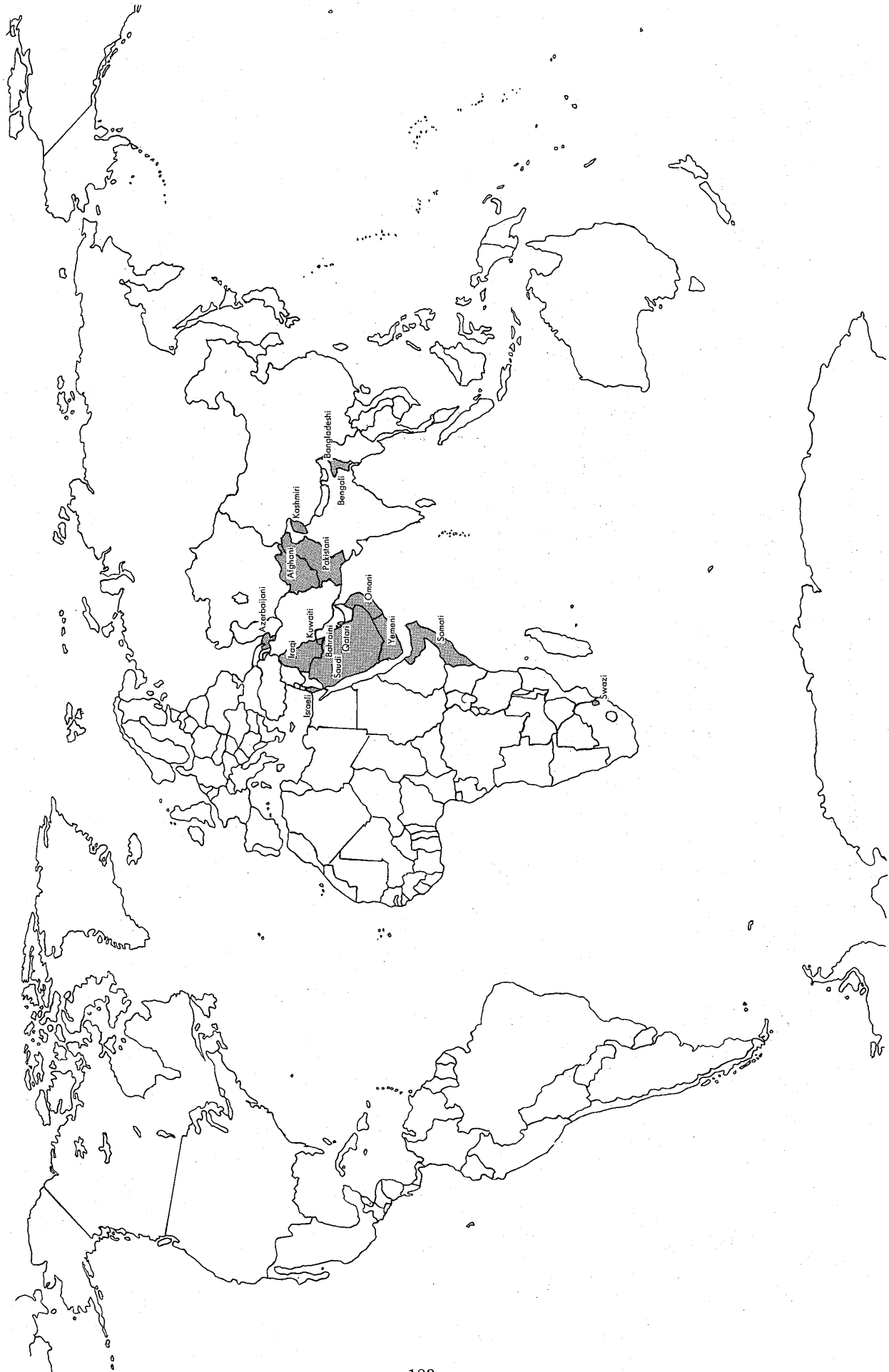
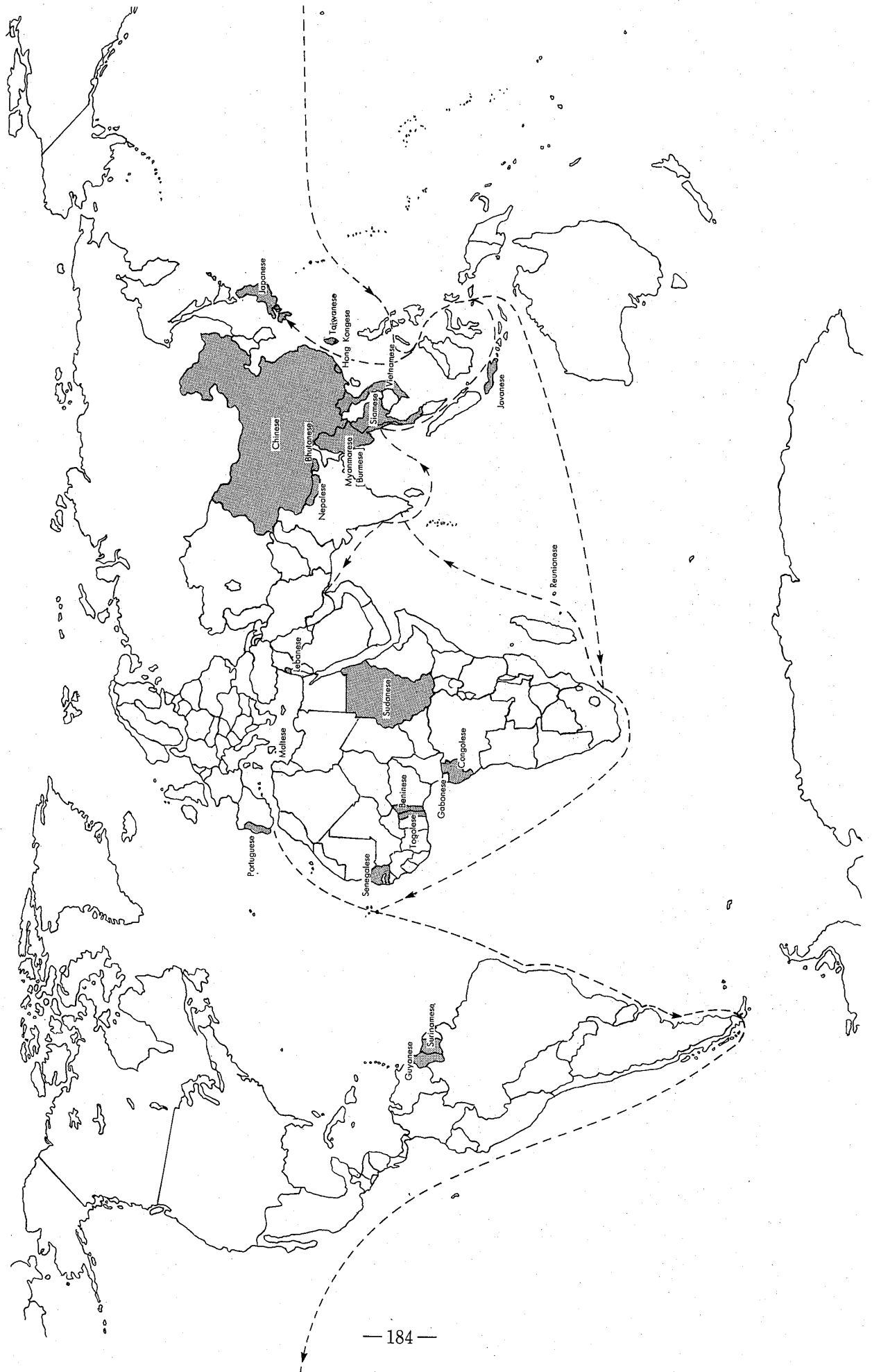


Chart 2. Distribution of national names ending with -ese



リカに分布がまとまっている。

第二次世界大戦終結後から1970年代に誕生した独立国とその国民の英語名は、民族独自の言語を借用したものが多くといえよう。アフリカの標準アラビア語は /a/ /i/ /u/ の母音を持つが、Table 1 の I-A にある Rwanda, Uganda; Mali, Transkei; Bantu, また、Rwanda の Hutu, Tutsi などの部族名にみられるように、民族主義に基づく選択によると考えられる。

西アジアでも、イランの場合は、アラブ国ではないから、国民は *Irani ではなく Iranian である。⁽⁵⁾

II-3. -ese のつく語の分布

II-1 (4)の結果のアジアとアフリカ地域の -ese がつく語 (以下 -ese 語とする) だけでなく、全地域の -ese 語を持つ国々を世界地図に描いたのが、Chart 2 である。

地図上の国々を眺めて気づいたことは、大航海時代のポルトガルの航海の線上に点在しているらしいという推理である。点線は航海の軌跡である。

“Henry the Navigator” は15世紀半ば、中国 (当時は Cathay といった) への航路発見をめざして幾度も艦隊を繰り出した。1445年 Dinis Dias はアフリカの Senegal 川の河口に到達した。(Senegalese) 1455年、Alvise Ca' da Mosto は、セネガルの隣りの Gambia と、セネガル沖の太西洋上の Cape Verde Islands (公用語にポルトガル語も) に達した。同諸島との中継地 Madeira Islands と Azores (現在も両方ポルトガル領) を築き、Sierra Leone に着いた。さらに南下して (Togolese, Beninese)、Diogo Cao が1482年 Congo 川を発見した。(Congolese, Gabonese) Bartolomeu Dias は1487年、Cape of Storms (後に Vasco da Gama により Cape of Good Hope と命名) に発見の印を残した。⁽⁶⁾

Vasco da Gama は1497年に喜望峰を回って東アフリカの海岸に沿って航海し、翌年インドの西海岸の Calicut (現在の Calcutta) に到達した。Gama の勧めで Guinea の風いだ海原を避けて南西にカルカッタを目指した Pedro Alvarez Cabral が1500年 Brazil を発見した。(隣接して Guyanese, Surinamese) その後交易地がインド洋のアフリカ沿岸から紅海にかけて築かれた (Reunionese, Sudanese)。1510年に Goa に基地を造り、インド大陸を回って、タイ (当時は Siam で Siamese, 現在は Thailand で Thai) へ、さらに東進して、1511年に Malacca (現在は Malaysia の Melaka) へ、Moluccas (= Spice Islands) を経て、Java に達した。(Javanese, Burmese [現在は Myanmarese], Vietnamese) 東シナ海に出て、1557年には Canton 川の河口に Macau の基地を築いた。(Chinese, Hong Kongese, Japanese, Taiwanese) 他方、1515年にはペルシャ湾の要衝 Ormuz にも基地を築き、東半球の通商を手中に納めた。⁽⁷⁾

上記の -ese 語がポルトガル語ではどのようなスペリングに綴られるかを示したのが Table 3 (p.187) である。ポルトガル語の語尾の男性複数 -êses の語尾 -s が落ちて -ese になったといわれる。⁽⁸⁾

II-4. 新語の接尾辞の生産性との比較

II-1の国民・民族名における接辞の生産性を、新語のなかの接辞の生産性と比較して、造語力に変化があるかどうかをみる。

1945年から1981年に生まれた新語のなかで出身 (origin) を表す person words には次の語がある (須永、1981)⁽⁹⁾。

Israeli (*Polyglot Lexicon* 1943-1966, Publ.1973 *)
Namibian, Zairean, Scouser (*Barnhart 1*, 1973 *)
Banaban, Belizean, Biafran, Botswanan/ Botswanian,
Comoran, Sri Lankan, Transkeian, Zimbabwean/ Zimbabwian,
Ivorian (<Côte d'Ivoire), Sahelian, Beninese, Bangladeshi,
Sahrawi (<Arab. *sahra*, Western Sahara) (*Barnhart 2*, 1980 *)

(* Reference を参照)

以上の19語のうち11語が *-an* または *-n* の語尾を持ち、*-ian* が3語、*-er* が1語、*-ese* が1語、*-i* が3語ある。本論の Table 2 での同じ接辞の対比は、98:26:8:22:16である。*-ese* と *-i* 以外はほぼ同比率である。*-an* と *-ian* の両形を持つものが2例みられる。Sahel 人は *Sahelian* だったが、現在は *Saheli* となり、民族主義による選択と思われる。英語名 *Western Saharan* (Table 1 参照) の他に、上記のようにアラビア語 *sahra* に則った *Sahrawi* も登場した。

なお、今後元ポルトガル領の地域で独立する国が増えるとも考えられないから、*-ese* の造語力が落ちたといえる。しかし最近では *headlinese* や *computerese*, *guidebookese* のように、“characteristic jargon” (特有の語彙・表現) を作る用法が急増している。⁽¹⁰⁾

III. 主要な接尾辞別の形態的・音韻的特色

英語の国民・民族名の接尾辞および造語要素別に Table 1 のリストを分類し、国名または民族名の語尾の綴りおよび発音の構成を分析したのが Tables 4~10である。それらを参照しながら、形態的・音韻的特色を探る。

III-1. *-an* および *-n* (Cf. Table 4)

一番多用される *-an* は、ラテン語の形容詞語尾 *-anus* からフランス語の *-ian* または *-en* を経由してロマンス語系の言語に、そして英語の造語に登場した。*-a* で終わる地名には *a* を落として、*-n* の形で結合する。後者の形の国民・民族名のほうが多い。

先行する国名の語末の綴りと発音を分析する。

III-1-1. *-an* をつける語

(1) *-i* または *-y* で終わる語で、[i] の音を持つ語：10語

子音+*-i/-y* の結合で見ると、*-di* が1、*-ji* が1、*-li/-ly* が2、*-ry* が2、*-ti* が3、*-wi* が1である。地域別に見ると、Africa では *Burundi* など5語、Oceania では *Fiji* と *Kiribati* の2語、Americas では *Haiti*, *Europe* で *Italy*, *Hungary* の2語。

Haiti の *Haitian* は [ˈhaɪtʃən] と発音するほか、どちらかといえば [ˈheɪʃən] の発音が普通である。

(2) *-e*, *-ea*, *-es* で終わる語で、[i], [i:], [ei] の音または無声の語：8語

-le, *-me*, *-ne*, *-que*, *-we*, *-ze* がそれぞれ1語ずつ。*-ea* が2語。Africa で *Sierra Leone* など4語、Americas で *Chile* など3語、Asia は *Korea* のみ。*Sierra Leone*, *Belize*, *Zimbabwe* の語末の “e” は *-an* が後続すると [i] が現れる。*Korea* のみ [iə] と発音される。

(3) *-o* で終わる語：4語

語末の *-o* を取って *-an* をつける。*Morocco* は *Moroccan* に。Americas で *Mexican*, *Puerto Rican*, *Tobagan* の3語である。なお上記(2)の *Mozambique* は *que* を *c* に変えて *Mozambican* となる。

(4) *-u* で終わる語は、Oceania の *Nauru*, *Palau*, *Tuvalu*, *Vanuatu* の4語に限られる。

(5) *-ay* で終わる語は、*-guay* の2語。*Norway* は、中世ラテン語の *Norwegia*, または *Norvegia* に *-an* がついた形という。

(6) *-ei* で終わる語は、Africa で *Ciskei* と *Transkei*、Asia で *Brunei* の合わせて3語。発音は [ai] である。

(7) *-ire*, *-or*, *-ore*, *-one* で終わる語：4語

-an がつくると、隠れた [r] が [ri] になって現れる。そしてまた、第1強勢が第2強勢に変わり、*Salvadoran*, *Sierra Leonian* のように第1強勢が後方へ移動する。

Table 3. Portuguese Words for English National Names
Found in *Novo Michaelis Dicionário-Ilustrado*

English	Português m. sing./m. pl.	English	Português m. sing./m. pl.
Portuguese	português/ potuguêses	Maltese	maltês/ maltêses
Burmese	birmanês/ birmanêses	Senegalese	senegalês/ senegalêses
Chinese	chinês/ chinêses	Siamese	siamês/ siamêses
Japanese	japonês/ japonêses	Sudanese	sudanês/ sudanêses
Javanese	javanês/ javanêses	Vietnamese	vietnamita (m. + f.)/ ?
Lebanese	libanês/ libanêses		

Source : The Lexicographic Staff of Edicio des Melhoramentos, *Novo Michaelis Dicionário-Ilustrado*. Vol. I Inglês-Português (English-Portuguese), São Paulo, 1958.

Table 4. Breakdown of Sound Combinations in National Names Ending with *-an/-n*
[V : vowel C : consonant]

CV	CVV				(C) VCV					
-a/-as [-]	-e/-ea/-es [i/i:/-/ei/iə]	-i/-y [i]	-o [-]	-u [u:]	-ay [ai/ei]	-ia/-ya [iə/jə]	-ei [ai]	-oa [ouə]	-ua [uə]	-ire/-or/-ore/-one [iə/i:r/ouə/oun]
Aruba	Chile[i:]	Burundi	Mexico	Nauru	Paraguay	Colombia	Brunei	A.Samoa	Antigua	Zaire[iə→iri-]
Cuba	Zimbabwe	Fiji	Morocco	Palau	Uruguay	Gambia	Cisnei	W.Samoa	Nicaragua	Ecuador
C./S.Africa	[i/ei]	Mali	Puerto Rico	Tuvalu	Norway	Namibia	Transkei			[doɹ→doɹr-]
Costa Rica	Sao Tome	Italy	Rico	Vanuatu	(-wegi-)	Zambia				El Salvador(e)
Dominica	[ei]	Hungary	Trinidad			St. Lucia				[doɹ→doɹr]
Jamaica	Sierra Leone ¹	Ivory	Tobago			Cambodia				Singapore
Barbuda	Leone ¹	Djibouti				India				[poɹ→pouri-]
Bermuda	[-/i]	Kiribati				Georgia ⁴				Sierra Leone ¹
Rwanda	Belize[-]	Haiti ²				Australia				[oun→ouni-]
Uganda	Mozambique	Malawi				Mongolia				
Tonga	[-](-can)					Albania				
Sri Lanka	P.N.Guinea[i]					Armenia				
Angola	N./S.Korea[iə]					Bosnia				
Anguilla						Estonia				
Guatemala						Lithuania				
Venezuela						Mauritania				
W.Sahara						Romania				
Andorra						Tanzania				
Gaza						Turkmenia ⁴				
.....						Kenya				
Honduras						Libya				
						Ethiopia				
						Algeria				
						Austria				
						Bulgaria				
						Liberia				
						Nigeria				
						Syria				
						Byelorussia ⁴				
						Indonesia				
						Malaysia				
						Russia				
						Tunisia				
						Bolivia				
						Latvia				
						Moldavia				
						Kirghizia ⁴				

Notes: 1 発音が2種ある。有声 [liouni] と無声 [lioun]. 右端の Leone は無声であるが、*-an*がつくと有声。
2 Haiti の発音は [heiti] または [haiti] で、['haitien] もあるが、['heiʃən] が普通。
3 "Norway + *-an*" とはならず、ML (中世ラテン語) の *Norwegia* に *-(a)n* がついた形で *Norwegian* となる。
4 1991年 8月にソ連から独立した新連邦国家の名前。

Table 5. Breakdown of Sound Combinations in National Names Ending with *-ian*

V/VC	-ad	-an	-e/-es	-il	-is	-os	V/VVC	-ium/-ius	VCC	others
-a/-as [ə]	[æd]	[ən]	[i]	[il]	[is]	[aus/ouz]	-u/-oon [u:]	[iam/əs]	-ong -ypt	
<u>Canada</u>	<u>Chad</u>	<u>Iran</u>	<u>Cape Verde</u> ¹	<u>Brazil</u>	<u>Nevis</u>	<u>Barbados</u>	<u>Cameroon</u>	<u>Belgium</u>	<u>Hong Kong</u>	<u>St. Kitts</u> ³
<u>Grenada</u>	<u>Trinidad</u>	<u>Jordan</u>	<u>Ukraine</u>			<u>Laos</u> [t]	<u>Peru</u> (v)	<u>Mauritius</u>	<u>Egypt</u>	(-ttit-)
<u>Panama</u> (n)			<u>Zaire</u>			<u>Comoros</u> ²				
<u>Bahamas</u>			<u>Maldives</u>			(-ran-)				
<u>Ghana</u>										
<u>Palestina</u>										
6	2	2	4	1	1	3	2	2	2	1

Notes : 1 J.C. Wells, *Longman Pronunciation Dictionary* (以下、LPD) には“Cape Verdean”も併記。
 2 Comoro Islandsの国名のComorosから、Comorianと、rosがranに変化している。
 3 St. Kittsの形容詞はKittsianであるが、住民はKittitianとitが補われる。

Table 6. Breakdown of Sound Combinations in National Names Ending with *-er*

-land(s)	-stein	-bourg
<u>Holland</u>	<u>Liechtenstein</u>	<u>Luxembourg</u>
<u>Iceland</u>		
<u>New Zealand</u>		
<u>Falkland Islands</u>		
<u>Netherlands</u>		
<u>Solomon Islands</u>		
6	1	1

Table 7. Breakdown of Sound Combinations in National Names Ending with *-ese*

V	-o	VG	-am/-ame	-an	-ar	-in	VVC	VC
-a		-al					-ion	-on/-ong
<u>Burma</u>	<u>Congo</u> (1)	<u>Nepal</u>	<u>Vietnam</u>	<u>Bhutan</u>	<u>Myanmar</u>	<u>Benin</u>	<u>Reunion</u>	<u>Gabon</u>
<u>China</u>	<u>Togo</u> (1)	<u>Portugal</u>	<u>Suriname</u>	<u>Japan</u>				<u>Lebanon</u> [>Leban-]
<u>Indochina</u>		<u>Senegal</u>		<u>Sudan</u>				<u>Hong Kong</u> *
<u>Guyana</u>				<u>Taiwan</u>				
<u>Malta</u>								
<u>Java</u> (n)								
6	2	3	2	4	1	1	1	3

Note : * [Cantonese, Pekinese (Cf. OED, -ese) があるので、Hong Kongeseは実際に使用可能であろうが、他のHong Kongian (USN&WR Stylebook) やHong KongerおよびHong Kongite (Random House Dictionary 2版) は使う可能性がほとんどない」と、NHK国際局アナウンス課の古明地勝美、Patrick de Bolpi両氏はいう。LPDにはHong Kongeseの掲載がないが、[ˌhɒŋkəˈniːz]か？

Table 8. Breakdown of Sound Combinations in National Names Ending with *-i*

-bi	-di	-ki	-li	-ni	-qi	-ri	-shi	-ti	-wi	-zi
<u>Punjabi</u> ¹	<u>Saudi</u>	<u>Turki</u> ²	<u>Bengali</u>	<u>Adeni</u> ¹	<u>Iraqi</u>	<u>Kashmiri</u>	<u>Bangladeshi</u>	<u>Kuwaiti</u>	<u>Sahrawi</u> ⁴	<u>Swazi</u>
		(Gk)	<u>Israeli</u>	<u>Afghani</u> ³		<u>Qatari</u>				
			<u>Somali</u>	<u>Azerbaijani</u>		<u>Zanzibari</u> ¹				
				<u>Bahraini</u>						
				<u>Omani</u>						
				<u>Pakistani</u>						
				<u>Yemeni</u>						
1	1	1	3	7	1	3	1	1	1	1

Notes : 1. PunjabiはMarchand (1969) を参照。AdenはYemenに併合された。2. Turkiはギリシャ語。
 3. Afghaniは、Afghanも用いられる。4. Sahrawiはアラビア語のsahraから (Barnhart 2, 本文のII-4を参照)。

III-1-2. -nをつける語 (Cf. Table 4)

この方法で作られた国民・民族名のほうが -an がつく語より多い。強勢の移動はない。

(1) 子音+-a または -as で終わる語：21語

-ba が 2、-ca が 5、-da が 4、-ga が 1、-ka が 1、-la が 4、-ra が 2、-za が 1、-ras が 1 語である。Africa には 6 語、Oceania には Tonga のみ、Mideast には Gaza のみ、Asia には Sri Lanka のみであるが Americas には、Costa Rica, Cuba, Jamaica など中米の島々のほとんどがスペイン語圏のために、最多の11語が分布する。Europe には Andorra だけである。

(2) -ia または -ya の語尾を持つ語：37語

この組み合わせが最大多数である。子音との組み合わせで見ると、最多数は、-nia で 9、-nya も含めると 11、-ria が 6、-sia が 5、-bia が 4、-via が 3、-dia と -lia が 2 で、他は 1 語ずつである。

地域分布では、Africa には Algeria など 12、Mideast には Syria のみ、Asia に Cambodia, Malaysia など 5、Oceania には Australia のみ、Americas に Bolivia, Colombia, St. Lucia の 3、Europe はローマ帝国の名残りで、Romania をはじめとして 11 国名ある。

(3) -oa で終わる語は -moa のみ、-ua は -gua のみである。

III-2. -ian (Cf. Table 5)

-ian は、-an の異形であるが、本論では、語幹に直接接続したり -a, -as, -e, -es, -os, -us などを落として -ian をつけるものをまとめた。Italy は -y を -i に変えて -an をつけたと解釈して III-1. -an で扱った。強勢の移動が多く見られる。

(1) 直結するもの：10語

-ad, -an, -il, -is, -oon, -ong, -ypt で終わる語。ただし Egypt は子音の発音が /t/ → /ʃ/ に変る。強勢も後に移動する。

(2) -a/-as, -e/-es, -os で終わる語は、それぞれの文字が落ちて -ian に接続する。6 語のうち 4 語は Americas にある。強勢は -ian の直前の母音に移る。Ukraine → Ukraïnian

(3) ラテン語の規則変化をするものは、Mauritius が Mauritian, Belgium が Belgian の 2 例がみられる。

(4) ラテン語の影響を受けた例に、Panamanian, Peruvian のような n, v の挿入がある。

III-3. -er (Cf. Table 6)

-er は、Partridge (-er (8)) にみるように、都市名 (Londoner)、地域名 (Northerner, villager) などにつく。本調査では、New Zealand, Netherlands など -land(s), Island(s) に結合する 6 語、ゲルマン語系の Liechtenstein, Luxembourg につく 2 例がみられる。

III-4. -ese (Cf. Table 7)

II-2 -ese の分布で述べたとおり、ポルトガル語の「ポルトガル」Portugal の形容詞は、男性単数 Português, 女性単数 Portuguêsa, 男性複数 Portuguêses, 女性複数 Portuguêsas で、Portuguêses かまたはスペイン語の Portugues に由来すると思われる (Partridge, *Origins*. s. v. "port" (2), para. 5.). 17世紀には、Chineses のように -eses 形も使われていた。The New Shorter Oxford Dictionary (1993; 以下 NSOD) には、英語ではロマンス諸語の国名の派生、"some names of foreign (never English) towns" の名前からの派生をつくると定義されている。Milanese, Viennese, Pekinese, Cantonese などイタリアの都市やアジアの都市の英語名が多い。

Marchand (1969) によれば、英語はイタリア語から Milanese (1484), Genoese (1553), Chinese (1577), Portuguese (1586) などを借用した。他方、Japanese (1604), Chinese (1644), Javanese (1704) の借用が遠隔地の外国名からの派生、おもに極東の国々の国民名の普及を促した。⁽¹¹⁾

Table 9. Breakdown of Sound Combinations in National Names Ending with *-ish* and *-man*

-ish	-ch	-s	-iot	-ois	-man/-woman
<u>British</u> [<u><Bruttische</u> ME < <u>Brittisc</u> OE]	<u>French</u>	<u>Scots</u>	<u>Cypriot</u>	<u>Nigerois*</u>	<u>Englishman</u>
<u>English</u> [<u><englisc</u> OE]	[<u><frencisc</u> OE]	[<u><Scottis</u> ME]	[<u>Cypriot</u> F]	[<u>Nigerois</u> F]	<u>Irishman</u>
<u>Irish</u> [<u><Irisc</u> , fr. OE <u>Iras</u> Irishman]					<u>Scotsman</u>
<u>Scottish</u> [<u><Scottes</u> ME Scotsmen]					<u>Welshman</u>
<u>Welsh</u> [<u><Walsce</u> ME < <u>waeliec</u> , <u>welisc</u> OE]					<u>Manxman</u> [<u>Manx</u> < <u>Maniske</u>] <u>Frenchman</u>
5	1	1	1	1	6

Note : *Nigeroisのほか、Nigerienか⁵、*Longman Dictionary of the English language* (1991) (以下LDEL)に掲載されている。

Table 10. Breakdown of Sound Combinations in National Names Ending with Original Language Elements

original language	minus	plus	derivative or replacement
<u>Afghan</u> [<u><Afghan</u> Persian] ¹	(Bophutha) <u>tswana</u>	<u>Burkinabe</u>	<u>Argentine</u> ⁵ [<u>argentinus</u> L.] <..... <u>Argentina</u> Sp
<u>Botswana</u>	<u>Comoro</u> (s) ³	<u>Sahrawi</u> ⁴	<u>Filipino</u> <..... <u>Filipinas</u> Sp
<u>Muslim</u> [<u><muslim</u> Arabic]		<u>Triestino</u>	<u>Greek</u> [<u><Greke</u> ME] <..... <u>Greece</u> land
<u>Venda</u> [<u><Bantu</u> lang.]			<u>Mosotho</u> <..... <u>Lesotho</u>
<u>Lao</u> [>Laos > <u>Laotien</u> F] ²			<u>Malagasy</u> ⁶ <..... <u>Madagascar</u>
<u>Thai</u> [<u><Tai</u>]			
<u>Briton</u> [<u><Breton</u> ME < <u>Briton</u> L.]			
<u>Spaniard</u> [<u><Spaignarde</u> ME < <(e) <u>spaignart</u> OF]			
<u>Dane</u> [<u><Dan</u> ME < <u>Dann</u> ON]			
<u>Dutch</u> [<u><Duch</u> ME < <u>duitsch</u> MD]			
<u>Swiss</u> [<u><Suisse</u> MF < <u>Swiz</u> MHG]			
<u>German</u> [<u><Herrmann</u> G]			
<u>Swede</u> [<u><Schwede</u> G]			
<u>Pole</u> [<u><polos</u> GK]			
<u>Finn</u> [<u><Finne</u> Sw]			
<u>Chechen</u> [Russian]			
<u>Tadzhik</u> [Russian]			
<u>Croat</u> [<u><Croata</u> NL from <u>Hrvat</u> Servo-Croatian]			
<u>Czechoslovak</u> [<u><Czech</u> & <u>Slovak</u>]			
<u>Serb</u> [<u><srb</u> Servo-Croatian]			
<u>Yugoslav</u> [<u><Jugoslaviya</u> Servo-Cro.]			
<u>Kazakh</u> [Turkic lang.]			
<u>Kirghiz</u> [<u><Kyrgyz</u> Turkic]			
<u>Turk</u> [<u><Turk</u> Turkic]			
<u>Turkmen</u> [<u><Turkmen</u> Turkic]			
<u>Uzbek</u> [Turkic]			
2 6	2	3	5

Notes : 1 AfghanのほかAfghaniもみられる。

2 ラオ族Laoの国ラオスの国民をフランス語で Laotien というところから、英語の Laotian ができたらしい。初出は1847年。Cf. *Merriam Webster's Collegiate Dictionary*, 10th Eb., 1993.

3 Sahrawiについては、Table 8, Notes 4を参照。

4 Argentineのほか、Argentinian, Argentineanもみられる。Cf. LDEL.

5 MalagasyのほかMadagascanもみられる。Cf. LDEL.

- (1) -a で終わる語は、a を落として接続する。
- (2) -a と -o 以外は、-l, -m/-me, -n, -r, -ng といずれも有声継続音で終わる綴りに続く。
- (3) -an, -in, -on, -ong など [n] 音で接続する語が 9 語で、23 語のなかで目立つ。Peking から Pekinese と g が落ちている (OED) 例から推理すると、Hong Kongese は * Hong Konese となりそうだが、そうすると、[kouni:z] とまったく別な読み方をされることになる。Table 7. の Note に示したように、[hɔŋkə'ni:z] となろう。
- (4) Congo と Togo は Congolese, Togolese と [l] の音でつながれている。接続のために Senegalese にならったと推測される。
- (5) 同様に、Javanese は Japanese にならったとされる。⁽¹²⁾

III-5. -i (Cf. Table 8, Chart 1)

-i は、アフリカ-アジア語族の代表格のスワヒリ語 (Swahili) やアラビア語 (Arabic) にみられる形容詞語尾で、英語と同様に「~人」「~語」の意味も持つ。アラビア語の「エジプト」Misr に -i をつけた Misri は「エジプト人」になる。

この接尾辞を「新興国の名につける」と最初に紹介したのは、Marchand である。⁽¹³⁾ OED では *Supplement Vol. 3* で初出し、OED2 (1989) では、「“Near-Eastern and Eastern peoples” の名に用いられる」と記したが、NSOD には「“Semitic and Indo-Iranian Langs.” の接尾辞」と記述されている。Urdang (1982) には発見されない。

西アジアと北アフリカに広く分布し (Chart 1 を参照)、Israeli、産油国で知られる Bahraini, Kuwaiti, Omani, Qatari, Saudi (Arabia), Yemeni のほか、インド辺の Bengali (住民)、Bangladeshi (国民)、Pakistani (国民)、Kashmiri (住民)、アフリカ東部の Somali, Swazi など 15 を数える。

また、トルコ語系の民族名 Kurd、ペルシャ語の民族名 Afghan、ロシア語の Tadjik などに -i をつけ、-stan (「土地」) に接続して国名を作る。(Table 10. を参照)

III-6. -ish (Cf. Table 9)

英国の 4 民族を表す語は -ish の接尾辞を持つ。語源の OE の -isc, ME の -ische は、ともに [iʃ] と発音される。French も OE は -isc であった。Cyprus と Niger はともにフランス語の接尾辞 -iote, -ois を持つ語を借用している。民族の一人一人を示すには -ish に -man, -woman をつける。Scotsman の s は異形である。Manxman は the Isle of Manx の民族である。

IV. 原地語の借用 (Cf. Table 10)

民族の住む地方、地域の言語を英語に借用したものを調べると、

- (1) ヨーロッパの言語から：スペイン語 2、フランス語 2、ドイツ語 4、ギリシャ語 1、ラテン語 2、スウェーデン語 1、ロシア語 2、セルボ-クロアチア語 3、北ゲルマン語 1、オランダ語 1、中英語 5、その他 1 など。
- (2) アジア・アフリカの言語から：ラオス語 1、タイ語 1、ペルシャ語 1、アラビア語 1、トルコ語 5、バンツ-語 1、その他 6 語。

という結果になる。

V. まとめ

本論では、“a native or an inhabitant of a country”, “a resident in the country” の固有名詞を研究した。

以上の観察・研究から、次のようなことが言える。

1. 接尾辞 *-an* [*-n*] の造語力が最大である。(Cf. Table 2)

2. *-ese* 語と *-i* 語の分布に特色が見られる。*-ese* 語は Portuguese の航路発見と通商路開拓と関わっていた。*-i* 語はアフリカ-アジア語族の形容詞接尾辞で、新興独立国の民族名に多く見られる。前者は歴史上の要因、後者は、言語的要因による。

3. 形態的特色

(1) 一般的規則変化の定型

Rwanda → Rwandan; Brazil → Brazilian; Nepal → Nepalese; Bangladesh → Bangladeshi;
New Zealand → New Zealander; Bergium → Bergian

(2) スペリングの変化

Mexico → Mexican; Mozambique → Mozambican;

(3) 不規則変化

(3-a) 文字の消失: Honduras → Honduran; Maldives → Maldivian; Netherlands → Netherlander

(3-b) 文字の追加: St. Kitts → St. Kittitian; Togo → Togolese; Peru → Peruvian

(4) 原地語の借用

(4-a) 英語語形成の歴史上、ラテン語からフランス語経由またはドイツ語経由のヨーロッパ諸国の民族名が多い。Spaniard ← (E)spaignart OF

(4-b) ラテン語系のスペイン語、ポルトガル語に由来する民族名も多い。Filipino ← *Filipinas* Sp

(4-c) アフリカの民族名は、アラビア語各系統の変化を借用。Burkina Faso → Burkinabe; Lesotho → Mosotho

4. 音韻的特色

(1) 音変化の定型

(1-a) 母音の変化: Tobago → Tobagan; Barbados → Barbadian

(1-b) 子音の変化: Haiti [héiti] → Haitian [héiʃən]

Laos [láus] → Laotian [láuʃiən]

(1-c) 繋ぎ音の挿入: Panama → Panamanian; Congo → Congolese

(2) 強勢の移動と音の変化

Canada → Canáidian; Égypt → Egýptian

(3) 無声音の有声化

母音の有声化: (Sierra) Leone [lioun] → Leonean [li'ouniən]

子音の有声化: Ecuador [ˈekwədɔ:] → Ecuadoran [ˌɛkwəˈdɔ:rən]

(4) 原地語の音変化

Lesotho → Mosotho

5. 以上の結果から、「国民、民族、住民の呼称に関する法則」試案をまとめてみた。(FはFormulaの略)

F 1 : 国名 (<i>-ia</i> で終るもの) + <i>-n</i> = 国民名	Australian, Colombian
F 2 : 国名 (<i>-ia</i> 以外) + <i>-an/-n, -ian, -ese, -i</i> = 国民名	Bahamian, Belizean, Chinese, Israeli,
F 3 : 地名 + <i>-an, -er, ...</i> = 住民名、国民名	Bermudan, Egyptian, Falkland Islander,
F 4 : 民族名 + <i>-ia/-a, -istan, ... -y</i> = 国名	Romania, Somalia, Afghanistan, Germany
F 5 : 民族名 + <i>-land</i> = 国名	Finland, Scotland, Swaziland

6. 今後の課題:

- (1) 地域をさらに細分して、市民など下位区分の住民の呼称を含めた総合研究をする。
- (2) 各言語内、言語間関係をさらに調査する。

Notes:

1. Sunaga, Shinobu, "A Study of New English Words--On Person Words-- (Master Thesis presented to Yokohama National University), 1981.
2. 黒田美代子「中東における国家--<民族国家>からウンマの共同体へ」『国際大学中東研究所紀要』第4号, 1990, p.181「....."Nation State"の訳語である<民族国家>あるいは<国民国家>は,.....」
3. Charles Berlitz, *Native Tongues* (Grosset & Dunlap, 1982), 中村保男訳『ベルリッツの世界言葉百科』(東京、新潮社、1983年), 「25. 民族名の由来」, pp.152-157.
4. Hans Marchand, *The Categories and Types of Present-Day English Word-Formation*, 2nd. Ed. (Munich: C. H. Beck'sche Verlagsbuchhandlung, 1969), Index.
5. Norm Goldstein, ed., *The Associated Press Stylebook and Libel Manual* (New York: The Associated Press, 1994), "Iran"
6. *The New Encyclopaedia Britannica*, 15th Ed., Vol.18 (Chicago: Encyclopaedia Britannica, Inc., 1994), pp.731-735.
7. John A. Garraty and Peter Gay, eds., *The Columbia History of the World* (New York: Harper & Row, Publishers, 1972; 6th Dorset Press Printing, 1986), p.622.
8. Otto Jespersen, *Modern English Grammar, on Historical Principle*, Part VI Morphology (Copenhagen: Ejnar Munksgaard, 1942), 21.1., p.361f.
9. Sunaga, *ibid.*, Chapter II, pp.32-34.
10. Laurie Bauer, *English Word-Formation*, Cambridge Textbooks in Linguistics (Cambridge: Cambridge University Press, 1983), 8.2.2. The Suffix '-ese', p.250f.
11. Marchand, *ibid.*, IV. Suffixation 4.33, pp.285-6.
12. Jespersen, *ibid.*, 19.8., p.332.
13. Marchand, *ibid.*, IV. 4.79.9.-i /i/, p.354.

REFERENCE

- U.S. News & World Report Stylebook*, 6th Ed. (Washington: U.S. News & World Report, 1993), 'nations and regions'
- The Angus & Robertson Atlas of the World* (London: Collins Angus & Robertson Publishers, 1992).
- The New Encyclopaedia Britannica*, 15th Ed., Vols.14, 15 and 18 (Chicago: Encyclopaedia Britannica, Inc., 1994).
- The Oxford English Dictionary*, 2nd Ed. (Oxford: Clarendon Press, 1989).
- The New Shorter Oxford English Dictionary of Historical Principle* (Oxford: Clarendon Press, 1993).
- The Compact Edition of the Oxford English Dictionary*, Vol.1, Vol.2 and Vol.3: Supplement (London: Oxford University Press, 1987).
- Longman Dictionary of the English Language*, O'Kill, Brian, et al., eds. (London: Longman Group UK Ltd., 1991).
- Longman Dictionary of English Language and Culture*, Della Summers, ed. (London: Longman Group

- UK Limited, 1992).
- The American Heritage Dictionary of the English Language*, 3rd Ed. (Boston: Houghton Mifflin Company, 1993).
- Novo Michaelis Dicionário Ilustrado*, Vol. 1 *Inglês-Português* (São Paulo: Comp. Melhoramentos de São Paulo, 1958).
- Portugal and the Discoveries* (Comissariado de Portugal para a Exposicao Universal de Sevilha, 1992).
- Ahmad, Iftikhar, *et al.*, *World Cultures--A Global Mosaic--* (New Jersey: Prentice Hall, 1990).
- Berlitz, Charles, *Native Tongues*, (Grosset & Dunlap, 1982), 中村保男訳『ベルリッツの世界言葉百科』(東京:新潮社、1983年)。「25. 民族名の由来」.
- Garraty, John A., and Gay, Peter, eds. *The Columbia History of the World* (New York: Harper & Row, Publishers, 1972; 6th Dorset Press Printing, 1986).
- Hirsch, E.D., Jr., *et al.*, eds., *The Dictionary of Cultural Literacy*TM (Boston: Houghton Mifflin Company, 1988).
- Jespersen, Otto, *Modern English Grammar*, Part VI Morphology (Copenhagen: Ejnar Munksgaard, 1942).
- Lehmann, Winfred P., *Historical Linguistics*, 2nd Ed. (New York: Holt, Rinehart and Winston, Inc., 1973).
- Partridge, Eric, *Origins--A Short Etymological Dictionary of Modern English*, 3rd Ed. Revised (London: Routledge & Kegan Paul, 1966).